

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

自由民主党神奈川県参議院選挙区第五支部長に あさお慶一郎さんが就任

経済・外交に強い「あさお」が暮らしを守る

あさお けいいちろう 慶一郎さん

参議院2期、衆議院3期を務めた元衆議院議員の「あさお慶一郎」さんの特集します。証券アナリストであり、25年の政治家としてのたしかな経験と実績のある「あさお慶一郎」さんに大きな期待が集まっています。

あさお 慶一郎さん / profile

- 1964年生まれ
- 外交官であった父の赴任先であるアメリカ・カナダで少年期を過ごす
- 栄光学園中・高等学校 卒業
- 東京大学法学部 卒業
- 米国スタンフォード大学経営大学院 卒業 (MBA)
- 日本興業銀行 入行
- 証券アナリスト

- 1998年 参議院議員当選 (34歳初当選)
- 2004年 参議院議員再選 (2期目)
参議院/財政金融委員長
- 2009年 衆議院議員 (神奈川4区) 当選
- 2012年 衆議院議員当選 (2期目)
- 2014年 衆議院議員当選 (3期目)
- 2022年 自民党神奈川県参議院選挙区
第五支部支部長に就任



決意 神奈川県民の皆さま、このたび党神奈川県参議院選挙区第五支部の支部長を拝命いたしましたあさお慶一郎です。

政界に身を置き25年「誰にでも何度でもチャンスのある社会をつくる」と掲げた志が揺らいだことはありません。その実現のために特に2つのことに注力します。

現下のウクライナ情勢を見れば、国際社会の現実を踏まえた安全保障政策をわが国において実現することが大切であることは論を俟ちません。北朝鮮への送金

停止の法改正を実現した安全保障のエキスパートとして働きます。

もう一つ大切なのは、経済です。コロナ禍で傷ついた社会を回復するためにも、しっかりと安全保障を実現するためにも経済の立て直しが必要です。「明日は今日よりきっと良い」と多くの人が思える社会、チャンスに溢れた日本にするために経済政策にも力を尽くします。

あさお慶一郎

実現したい制度

税金は税務署、社会保険料は年金事務所とそれぞれ別個の公的機関が徴収しています。私はバラバラに徴収される現在の仕組みを一本化し【デジタル歳入庁】を新設することで『公平で効率の良い』制度にします。毎年10兆円を超える保険料の徴収漏れをなくす、そしてコロナ禍のような緊急事態には【迅速に給付する】ことが可能となります。困っている人をいち早く救います。



これまでに実現した行政改革

公費を年間1兆7千億円削減しました。平成18年公務員の有給休憩時間(休憩時間に手当がつく)を廃止することで実現しました。民間には存在しない制度は多くの国民には理解できません。私は国民から預かった税金は適切に使われるべきだと考えています。

取り組む地球温暖化解決

長年に渡り日本発の技術【人工光合成】の開発を支援しています。世界に先駆けて実現し、実用化することで、地球温暖化を日本の技術で解決に導きます。私は【人工光合成】で、日本をエネルギー産出国にすることをめざします。

憲政史上初、国庫に返納

税金から支給される政党交付金は、解党時に国に返すのは当然のこと。私はみんなの党の解党の際、政党代表として反対する同志を説得し14億円を国庫に返納しました。「使わなかったお金は返す」これはごく当たり前のことです。これが私の政治姿勢そのものです。



安全保障のエキスパート

ロシア軍のウクライナ侵略が起き、日本の安全保障はより現実的なものが必要とされています。日米安保条約は大きな抑止力ですが、さらにわが国の抑止力を高めるためにも「敵基地攻撃能力」を持つことが必要と、私は10年以上前から提唱しています。北朝鮮への外貨送金を止める法律を立案した私だからこそ国益を守る議論ができ、実現する力があります。

LINE 登録をお願いします。

あさお慶一郎の最新の情報をお送りします。

ご登録は右記のQRコードより簡単にできます。



アンケート あなたのお考えをお聞かせください。

Q. 今、関心があることは？

お答えは右記QRコードよりお願いします。





岸田文雄

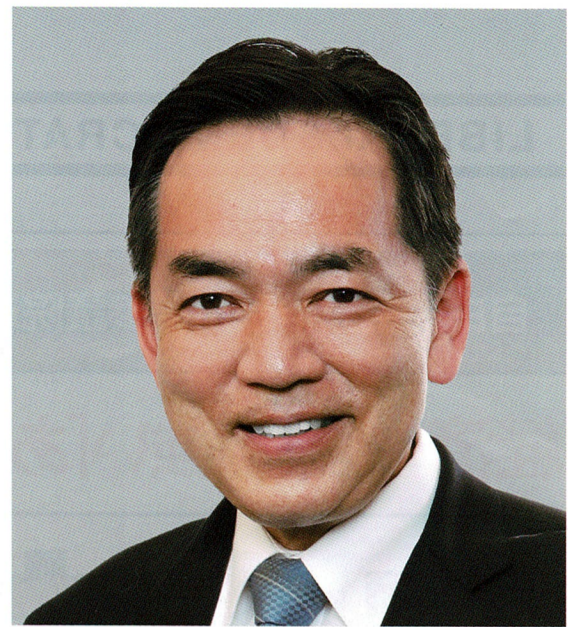
自由民主党総裁・内閣総理大臣



あさお けいいちろう 慶一郎

自民党神奈川県参議院選挙区第五支部長

緊急特別対談



「あさお慶一郎」さんの経験・見識・実行力に期待!

国政に必要な人材

あさお 自民党神奈川県参議院選挙区第五支部長として、再チャレンジの機会をいただきました。このチャンスを生かして、日本の未来に貢献したいと思っております。



岸田 あさお慶一郎さんは、2009年に当時の民主党でネクスト防衛大臣を務めていました。政権交代が現実味を帯びる中、そのまま行けば、大臣になれたのに、あえて民主党を離れましたね。ブレない信念を持った政治家

なのだと、とても印象に残りました。多くの政治家が信念という言葉を使いますが、目の前の大臣ポストを投げ打つ政治家はそうはいません。

あさお あの当時の鳩山首相は沖縄の基地問題で「最低でも県外」と公言して、アメリカとの信頼関係に亀裂を生みました。もし私が防衛大臣になっていたら、真っ先に辞表を出すことになっていたでしょう。一國平和主義の理想論で日本の安全は守れません。そして、日本が国際社会の安定化に貢献することもできないでしょう。ロシアによるウクライナ侵略や中国の軍事的な台頭、北朝鮮問題など東アジア情勢の緊張を前に、国民の多くは、日本の安全保障に不安と関心を抱いています。安全保障にはリアリティが必要なのです。今は多くの国民の皆さんが、私の考えに共感して頂けると思っています。

岸田 国際情勢だけでなく経済も先行きが不確実な時代だからこそ、安全保障や経済、金融に専門的な知識があり、ブレない信念を持ったあさおさんには、即戦力として国民のために働いてもらいたいと願っています。

並外れた実行力

あさお これまでの25年間の政治経験を生かして、国民の皆さんの期待に応える覚悟です。

岸田 私はあさおさんの実行力にも期待しています。あさおさんは1999年に月刊誌に北朝鮮の半潜水艇に日本製の部品が使われているという論文を寄稿しました。この論文によって日本全体に問題意識が広がり、あさおさんご自身が旗振り役となって、これに対応する超党派の議員立法が成立しました。政治家としての並外れた実行力を感じましたよ。

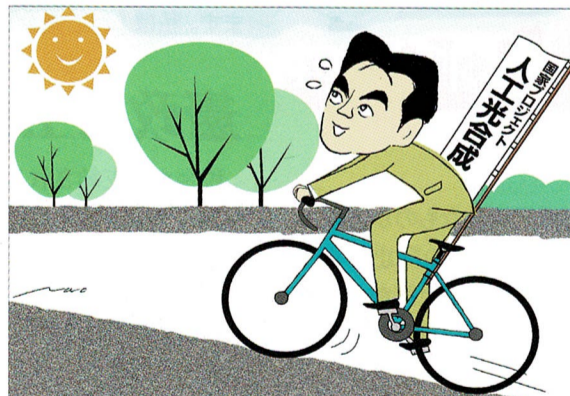
あさお 当時は「国防」「国益」という言葉にアレレギー反応を示す国会議員やマスメディアの記者も大勢いました。そんな中、河野太郎さんや山本一太さん(現・群馬県知事)ら志を同じくする若手議員たちと党派を超えて手を組み、法律を成立させたことは政治家として良い経験になりました。国民の安全を守り、国際社会の安定に貢献するために国政の舞台で再び腕を振りたいです。

環境と経済の両立

岸田 実は私とあさおさんには、共通点があります。私は日本長期信用銀行(現・新生銀行)で働いた経験があり、あさおさんは日本興業銀行(現・みずほフィナンシャルグループ)の出身です。

私は5月にロンドンの金融街シティで講演、「岸田に投資を(インベスト・イン・キシダ)」と世界に呼びかけました。銀行で働いた経験を生かして、貯蓄から投資への移行を促し「資産所得倍増」を実現して、日本を豊かな国にしたいと考えています。

あさお 岸田首相は戦後初の金融界出身の首相ですね。岸田首相の掲げる「新しい資本主義」もシティでの講演でより具体化されたと感じました。この講演では環境分野について、2050年のカーボンニュートラルへ「今後10年間で官民協調により



150兆円の新たな関連投資を実現する」と話されたことにも深く共感しました。

私は、カーボンニュートラル実現に植物が行う

光合成を人工的に実現できる様にすべきだというのが、持論です。技術の芽は日本にあります。これも国政に復帰して実現したいプロジェクトです。

政治家のけじめ

岸田 あさおさんは、かつて「みんなの党」代表も担われていた。

みんなの党を解党する時に、党に残っていた政党交付金を、あさおさんのリーダーシップで全額、国に返還しましたね。これは憲政史上初の快挙でした。信念の政治家として国民に対して筋を通すあさおさんらしい行動でした。多くの国民の記憶にも残っているでしょう。



あさお 政党を解党する際に、政党交付金を仲間内で分配してしまったり、新しい政党に資金を移動してしまったりしているのが実情です。しかし、税金から支払われている政党交付金を国に返すのは当然のことです。みんなの党を解党する際には政党交付金14億円を国に返還しました。政治家として国民に恥ずかしくない決断をしたと考えています。

デジタル歳入庁

岸田 あさおさんは、「デジタル歳入庁」の設置を提案するなど、現実的でユニークな提案力を持っていることにも注目しています。

あさお 「デジタル歳入庁」は、行政改革だけでなく、企業の利便性の向上、社会保険料の徴収漏れ等を防げる上、政府が率先してけん引することで、日本社会全体のデジタル化の追い風になると考えています。

岸田 ブレない信念と実行力、アイデアと専門知識を生かして、ぜひ国民のために働いてください。

あさお 私の政治信条は「誰にでも何度でもチャンスのある社会」の実現です。前回の選挙では敗れましたが、私は、こうして再び立ち上がりました。このチャンスを生かして全力で日本のために尽くします。

自民党神奈川県参議院選挙区第五支部 支部長

あさお慶一郎 事務所

■横浜事務所

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-241-2

TEL.045-577-4030 FAX.045-577-4033

■鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11松岡ビル5F

TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626

■Eメールアドレス

(両事務所共通)

info@asao.net